

黒田庄まちづくり協議会より

第141号2月

まちづくりワークショップの開催

2月28日(水)午後7時30分から、黒っこプラザにおいてまちづくりリーダー育成講習会のワークショップを開催いたします。

講師は、前回まちづくりリーダーとはどういうものなのかという概論をお話しいただきました「人・まち・住まい研究所」代表社員の浅見雅之氏で、今回は黒田庄の中で課題解決に向けて、リーダーがなすべきこと、考えていきたいことのヒントをワークショップで教えていただきます。

初参加、大歓迎です。たくさんのご参加お待ちしております。
(情報・企画部会)



前回の講習会



インドヨガ教室

インドヨガ教室について、昨年10月から毎週木曜日の午後7時30分から開催しています。1月に入り寒さが増す中、受講生のみなさんは元気な笑顔で来られ熱心に受講されています。

平成30年度の4月からインドヨガ教室を開催いたします。現在受講されている受講生の方は、そのまま引き続き受講となります。当初65名の受講生で始まりましたが、現在若干空きがあります。4月からインドヨガ教室を受講されたい方は、黒田庄まちづくり協議会(黒っこプラザ)28-2121までお問い合わせください。
(福祉・環境部会)



インドヨガ教室 受講風景

編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西麻市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
平成30年2月15日発行

防災訓練等中止のお知らせ

福祉・環境部会では、今年度事業の防災体制づくりとして、黒田庄地区の安全・安心なまちづくりの一環として、地域住民の防災意識の高揚及び災害対応能力の向上を図るとともに、自治単位の連携を強化し、災害による被害の防止・軽減及び、各集落における自主防災会の組織強化の機会とするため、2月に黒田庄地区防災訓練等を実施する予定にしておりましたが、日程調整が難しく、開催が不可能となりましたので、今年度の防災訓練等は中止いたしますのでご了承ください。

なお、来年度は早い機会に防災訓練等について検討し、開催する予定にしております。
(福祉・環境部会)



黒田庄地区の人口
(H30.2.1現在)
男 3,343
女 3,575
計 6,918
世帯数 2,632
人口前月比 (—6)

(2)

まちかどつまいカフェ 津万井集落

まちかどつまいカフェでは、1月14日に今年最初のカフェ事始めを行いました。当日は、大歳神社境内で「お當」の皆さんによるとんど、餅つきが行われるなか、当カフェからは豚汁を振るまい、子ども、集落の皆さん、役員等約70名が舌鼓を打つなど和やかな半日となりました。

当カフェは、黒田庄まちづくり協議会が提案された地域活性化事業に呼応して、7月に第1回「まちかどつまいカフェ」を実施したのを皮切りに、月1回のペースで実施しています。

実施メンバーは40才代～50才代の若手？主婦13人です。1回平均25人程度が集まっています。最初はいきいきサロンの人たちを対象に参加者の輪を広げてきましたが、8月の「津万井の日」には女性会を中心にワイワイとお茶飲み会や津万井の歴史講座も取り入れ、12月には子ども会と一緒にクリスマス会を行い、ケーキを食べながらビンゴゲームを楽しみました。

2月には津万井の歴史・伝統行事等を中心としたお話を聞きながら、今年度最終のカフェを公会堂で開催いたします。まだまだ始めたばかりでメンバーも手探り状態ですが、来年度は参加者の輪がもっともっと広がるような企画を考えて頑張りますので、ご協力よろしくお願いたします。



餅つき



つまいカフェ 豚汁作り



豚汁舌鼓

ボランティアグループ紹介 よつばのクローバー

よつばのクローバーは、平成15年から西脇市社会福祉協議会に登録し、活動しているボランティアグループです。

ミュージック・ケア(加賀谷式音楽療法)を中心に年間約60日近く活動しています。ミュージック・ケアは、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくてもどんな人でも対象になり、音楽の特性を生かして、鈴や鳴子などの楽器を使ったりして、快い刺激を与えたくさんの効果が得られる音楽療法です。いきいきサロン・一人暮らしの高齢者のつどい・老人福祉施設・障がい者福祉施設・子育て支援などいろんなところで活動しています。

また、障がい児・者の支援では、講演会や夏祭り・キャンプなど、中学生・高校生・大学生のボランティアの協力を得ながら実施しています。昨年度から、茜が丘複合施設みらいえで、月1回ワークショップを行なっています。昨年度は、ケーキやパン作り・親子ヨガ・小物作り・パステル和アートなど、今年度は、笑いヨガ・クッキー作り・トランポリンを行いました。次年度もいろいろ企画する予定です。

よつばのクローバーのメンバーは、参加していただいた方々の笑顔から力をいただき活動を続けています。これからも、年齢や障がいの有無にかかわらず、その人らしく暮らせる地域作りの一旦を担えるように続けていきたいと思っています。

(よつばのクローバー代表 布垣孝美)



活動風景



虹の会

工房だより

立春が過ぎ暦の上では暖かい春を迎える時期ですが、今年の2月は日本列島に強い寒気が流れ込んで来ました。黒田庄町でも朝晩氷点下の寒さきわまる日が続いています。その上インフルエンザも猛威を奮っています。工房利用者の皆さんも感染しないようマスクと手洗いの徹底に努めています。また、寒いと一層外に出なくなりがちですが、日当たりや風の様子を見ながら30分程度の散歩も心掛けて運動不足の解消にも取り組んでいます。

さて、正月から立春へと日はまたたく間に過ぎましたが、この間にも本工房では日常的な作業等の他に楽しい活動を行ってきました。1つには疫病などをもたらす悪い鬼を追い払う「節分」の豆まきをしました。この頃は豆まきをする家も減ったようですが、福を招き入れると共に鬼を追い払い、家族の皆が健康に暮らせることを願いながら豆をまきました。2つにはピザ作りに「あすなろの里」(八千代区)に行きました。寒い中でキジ作りやトッピングをしました。焼き上がったピザは格別温かく美味しかったです。3つには「北播磨ブロック知的障害者保護者研修会」(西脇市民会館)で樽太鼓とトーンチャイム・ミュージックベルの演奏をしました。樽太鼓は1年近く演奏していませんでした。また、トーンチャイム・ミュージックベルは工房の施設以外では初めての演奏でした。皆とても緊張していました。でも、演奏後の多くの拍手に笑顔がもどりました。

まだ厳しい寒さが続くようですが寒さに負けないで頑張ります。



優しい鬼さんでした



豆まき！ 投げるも拾うも楽しい



大きなピザができました



ふれあい太鼓、げんき太鼓を打ちました



「ありがとうの花」の曲を歌とミュージックベルなどを交えて聴いてもらいました



トーンチャイムなどでクリモカベルとオーラリーを演奏しました

(4)

黒田庄の巨木シリーズ(5) 津万井 石井家のアラカシ

津万井の集落にそびえていた2本の高木のうち1本が姿を消した(12月6日)ことに気づかれましたか。石井家の裏庭にあるアラカシ(常緑樹)が幹を残して伐採されたのです。この木は、年代の違う2本の幹からなる株立ちで、それぞれの胸高幹周を合計すると $2.15\text{m} + 2.08\text{m} = 4.23\text{m}$ となります。

石井家は酒造業を営んでおられましたが、戦後しばらくして火災にあい、焼け残ったのが土蔵と、この木だったそうです。母屋の南西に位置しており、鬼門除けに植えられたのでしょう。

この木は、20年ほど前に高さ約4mに伐採され、その後切り口から数本の新芽を出して、多数の枝からなる樹形の高木に成長していました。アラカシは萌芽性が高く、今回の伐採後も再び高木をめざして成長するでしょう。

* 黒田庄の酒造業:「黒田庄町史」によると、黒田庄の酒造業の始まりは元禄10年(1697)です。天保4年(1833)の天保一揆の襲撃地の中に津万井村の酒屋徳三郎の名があります。最近、酒造業復興の動きがあります。



伐採前



伐採後



西脇市老人クラブ連合会芸能発表会

1月26日に黒っこプラザで、西脇市老人クラブ連合会(若手委員会主催)の芸能発表会が開催されました。2階大ホールでは、自慢の喉やマジック・舞踊等33組の熱演に舞台と観客席が一体となり大きな拍手と笑顔に包まれた素晴らしい時間を過ごされていました。会場外では、会員持ち寄りのバザーも開催し、集まった収益は東日本大震災の支援等に活用されます。



舞踊



マジック



ダンス

編集後記

去る2月3日(土)は節分の日。休日ということで、重い腰を上げ巻き寿司を巻くことにしました。具を煮て焼いて、子どもと手作りした巻き寿司はそれなりにおいしかったのですが、何か物足りなく…。そう、もう十数年、我が家の節分は「黒っこ巻き」が定番になっていたのです。色鮮やかな紫黒米の酢飯、ほんのり甘い卵焼きに地元産の具材、そして口いっぱい広がるやさしい味わい。もう食べられなくなるとは。黒っこマザーズの皆さんにありがとうの感謝と、黒田庄の自慢の味がなくなることに少し寂しさを感じる今日この頃です。

(M. H)